

ハートがたくさんの村づくり

差別のない、人への思いやりを大切にする、
明るい南阿蘇村をつくりましょう。



人権とはなんですか？

人権とは「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」であって、だれにとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守られなければならないものです。今回は、「性的マイノリティ」についてお伝えします。



最近、性的マイノリティやLGBTについて聞かれたことがある人がおられると思いますが、今回はこれらのことについて、お伝えします。

○性的マイノリティとは

同性に恋愛感情をもつ人や、自分の性別に違和感がある人などのことを言います。「セクシャルマイノリティ」、「性的少数者」ともいいます。「異性を好きになるのが普通だ」とか、「心と体の性別が異なることはない、性のあり方は男と女だけである」という考え方の人が多い社会からみて少数者という意味です。最近では、次のアルファベットの頭文字をとって、「LGBT」とも呼ばれています。

Lesbian

レズビアン（女性同性愛者）

Gay

ゲイ（男性同性愛者）

Bisexual

バイセクシャル（両性愛者）

Transgender

トランスジェンダー（体と心の性に違和感がある人。体の性別と異なる性別で生きる人）

性的マイノリティにはそのほか、

Xジェンダー（性別を男女二分することになじまない人）、アセクシャル（無性愛者）、クエスチョニング（心の性や性的指向がわからなかったり、迷っていたりする人）などが含まれます。

性的マイノリティに対する無関心や誤った認識が偏見や差別を生み、当事者が学校や職場で生きづらさを感じていることがあります。性的指向や性自認、性別表現にかかわらず、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指すことが求められます。

○性的マイノリティはどのくらいいるのでしょうか

様々な調査によって、人口の約7・6%前後存在するというデータがあります。そして、世界どの地域、どの時代にも、同じ割合で存在すると考えられています。人口の7・6%前後であれば、学校のクラスに1人は、いるのかもしれない。

○「いなか」ではなく「気づくいなか」だけ

「自分の周りにはいない、会ったことがない」という声をよく聞きます。実は、性的マイノリティ

に出会っても、ほとんどの人はそれに気づきません。なぜなら心の性や、誰を好きになるかは外見ではわからないからです。何より、当事者は自分が性的マイノリティであることを隠さざるを得ないからです。秘密にする理由は、「本当のことを言ったら嫌われるかもしれない」「気持ち悪いと思われるかもしれない」「不安があるからです」。

一人ひとり違って当たり前なのに、「違い」を理由に、差別やいじめをする人が世の中に少なからずいます。そのため、性的マイノリティは、ありのままの自分を隠して周りの人と同じようなふりをしなくてはなりません。

こうした性的指向や性自認を理由とする偏見や差別をなくすには、異性愛など世の中の多数を占める人や社会のあり方を見直す必要があります。第1ステップは、多様な性について知る。第2ステップは、習慣・常識を変える。第3ステップは、理解者を増やす。あなたの行動が社会をよりよく変えるきっかけとなります。誰もが自分の性を尊重され、「自分らしく」生きられる社会へ。

村民みんなで「ハートがたくさん村」をつくりましょう。

総務課 人権政策係